

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年2月2日(2017.2.2)

【公表番号】特表2016-507504(P2016-507504A)

【公表日】平成28年3月10日(2016.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2016-015

【出願番号】特願2015-549830(P2015-549830)

【国際特許分類】

C 07 D 231/38	(2006.01)
C 07 D 403/12	(2006.01)
C 07 D 471/04	(2006.01)
C 07 D 403/14	(2006.01)
C 07 D 233/64	(2006.01)
A 61 K 31/4178	(2006.01)
A 61 K 31/4155	(2006.01)
A 61 K 31/437	(2006.01)
A 61 K 45/00	(2006.01)
A 61 P 29/00	(2006.01)
A 61 P 37/02	(2006.01)
A 61 P 37/06	(2006.01)
A 61 P 17/02	(2006.01)
A 61 P 17/06	(2006.01)
A 61 P 17/04	(2006.01)
A 61 P 37/08	(2006.01)
A 61 P 9/14	(2006.01)
A 61 P 1/04	(2006.01)
A 61 P 11/06	(2006.01)
A 61 P 25/28	(2006.01)
A 61 P 25/00	(2006.01)
A 61 P 9/10	(2006.01)
A 61 P 19/02	(2006.01)
A 61 P 35/00	(2006.01)
A 61 P 19/10	(2006.01)

【F I】

C 07 D 231/38	C S P A
C 07 D 403/12	
C 07 D 471/04	1 0 7 E
C 07 D 403/14	
C 07 D 233/64	1 0 5
A 61 K 31/4178	
A 61 K 31/4155	
A 61 K 31/437	
A 61 K 45/00	
A 61 P 29/00	
A 61 P 37/02	
A 61 P 37/06	
A 61 P 17/02	
A 61 P 17/06	
A 61 P 17/04	

A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	9/14	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/10	1 0 3
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	19/10	

## 【手続補正書】

【提出日】平成28年12月15日(2016.12.15)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

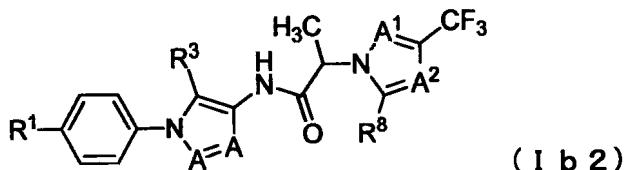
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

## 【請求項1】

下記構造:

## 【化1】



## [式中]

各Aは、N及びC Hから成る群から独立して選択され；A<sup>1</sup>は、N又はC (R<sup>5</sup>)であり；A<sup>2</sup>は、N又はC (R<sup>7</sup>)であり；R<sup>1</sup>は、C 1又はFであり；R<sup>3</sup>は、C<sub>1-8</sub>アルキル、C<sub>1-8</sub>ハロアルキル、C<sub>1-8</sub>ヒドロキシアルキルから成る群から選択され、ここで前記R<sup>3</sup>のアルキル部分が、1～3個のR<sup>a</sup>で任意にはさらに置換され；R<sup>5</sup>、R<sup>7</sup>及びR<sup>8</sup>は、H、ハロゲン、CN、C<sub>1-8</sub>アルキル、C<sub>3-8</sub>シクロアルキル、C<sub>2-8</sub>アルケニル、C<sub>2-8</sub>アルキニル、C<sub>1-8</sub>ハロアルキル、C<sub>1-8</sub>ヒドロキシアルキル、-O-R<sup>a</sup>、-CO<sub>2</sub>R<sup>a</sup>、-NR<sup>a</sup>R<sup>b</sup>、-CONR<sup>a</sup>R<sup>b</sup>、アリール、5-又は6-員のヘテロアリール、及び3-、4-、5-又は6-員のヘテロシクロアルカンから成る群からそれれ独立して選択され、ここでヘテロアリール及びヘテロシクロアルカン環の環頂点として存在するヘテロ原子はN、O及びSから選択され、そしてR<sup>5</sup>、R<sup>6</sup>、R<sup>7</sup>及びR<sup>8</sup>のアルキル、シクロアルキル、アリール、ヘテロアリール及びヘテロシクロアルカン部分は任意にはさらに、1～3個のR<sup>a</sup>で置換され、ここでR<sup>5</sup>、R<sup>7</sup>及びR<sup>8</sup>のアルキル、シクロアルキル、アリール、ヘテロアリール、及びヘテロシクロアルカン部分は、任意にはさらに、1～3個のR<sup>a</sup>で置換され；そして各R<sup>a</sup>及びR<sup>b</sup>は、水素、ヒドロキシル、ハロゲン、シアノ、C<sub>1-8</sub>アルキル、C<sub>1-8</sub>アル

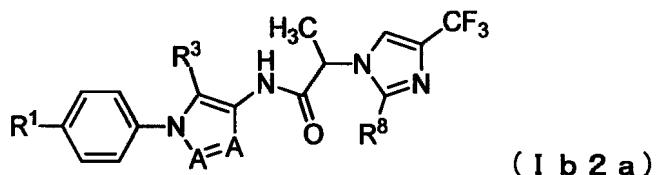
コキシ、C<sub>1-8</sub>ハロアルキル、C<sub>3-6</sub>シクロアルキル、C<sub>3-6</sub>シクロアルキルアルキル、アミノ、C<sub>1-8</sub>アルキルアミノ、ジC<sub>1-8</sub>アルキルアミノ、カルボキサミド、カルボキシC<sub>1-4</sub>アルキルエステル、カルボン酸、及び-SO<sub>2</sub>-C<sub>1-8</sub>アルキルから成る群から独立して選択される】

により表される化合物、その医薬的に許容される塩、溶媒和物、又は水和物。

【請求項2】

下記構造：

【化2】

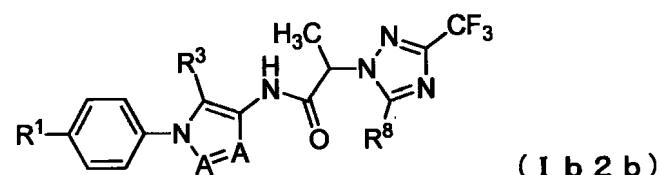


により表される、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

下記構造：

【化3】

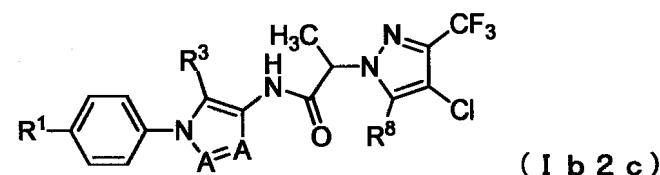


により表される、請求項1に記載の化合物。

【請求項4】

下記構造：

【化4】

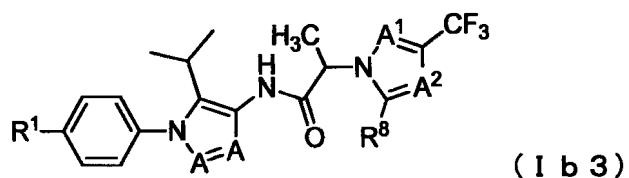


により表される、請求項1に記載の化合物。

【請求項5】

下記構造：

【化5】

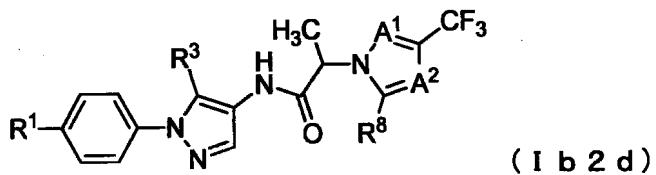


[式中、 $\text{R}^1$ はC 1又はFである]  
により表される、請求項1に記載の化合物。

【請求項6】

下記構造：

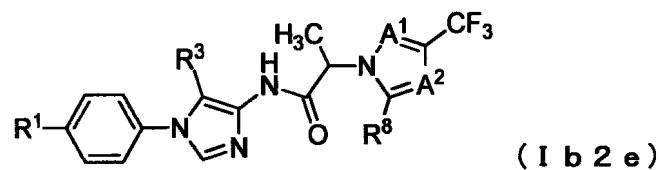
【化6】

により表される、請求項1に記載の化合物。

【請求項7】

下記構造：

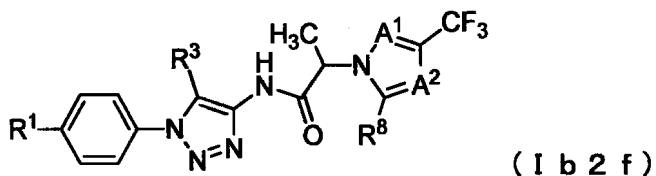
【化7】

により表される、請求項1に記載の化合物。

【請求項8】

下記構造：

【化8】

により表される、請求項1に記載の化合物。

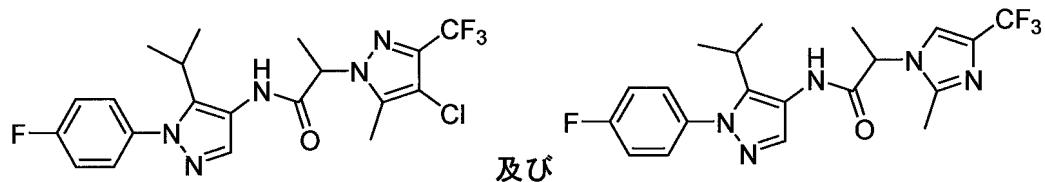
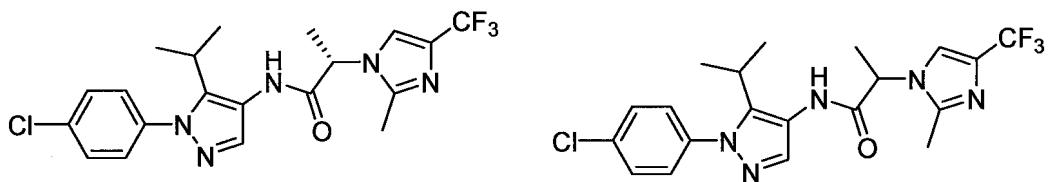
【請求項9】

$\text{R}^3$ がC<sub>1~8</sub>アルキルである、請求項1~4、6、7又は8のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 10】

下記構造：

【化 9】

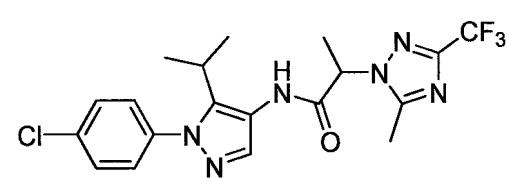
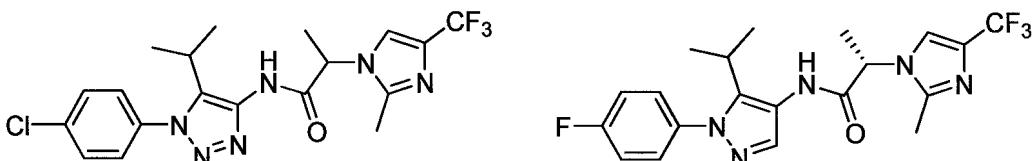


から成る群から選択される、請求項 1 に記載の化合物、その医薬的に許容される塩、溶媒和物、又は水和物。

【請求項 11】

下記構造：

【化 10】

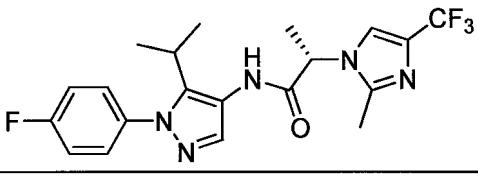


から成る群から選択される、請求項 1 に記載の化合物、その医薬的に許容される塩、溶媒和物、又は水和物。

【請求項 12】

下記構造：

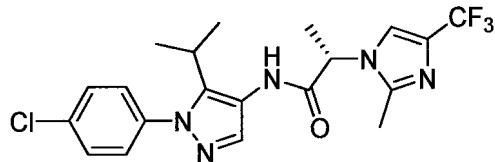
【化 11】



を有する、請求項 1 に記載の化合物、その医薬的に許容される塩、溶媒和物、又は水和物

【請求項 1 3】

下記構造：

【化 1 2】を有する、請求項 1 に記載の化合物、その医薬的に許容される塩、溶媒和物、又は水和物【請求項 1 4】請求項 1 ~ 1 3 のいずれか 1 項に記載の化合物、及び医薬的に許容できる賦形剤又は担体を含む医薬組成物。【請求項 1 5】C C R 1 介在性疾患又は状態を治療するための、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。【請求項 1 6】前記 C C R 1 介在性疾患又は状態が、炎症状態である、請求項 1 5 に記載の医薬組成物。【請求項 1 7】前記 C C R 1 介在性疾患又は状態が、免疫調節障害である、請求項 1 5 に記載の医薬組成物。【請求項 1 8】前記 C C R 1 介在性疾患又は状態が、移植拒絶、皮膚炎、湿疹、蕁麻疹、血管炎、炎症性腸疾患、食物アレルギー、喘息、アルツハイマー病、パーキンソン病、乾癬、エリテマトーデス、脳卒中、再狭窄及び脳脊髄炎から成る群から選択される、請求項 1 5 に記載の医薬組成物。【請求項 1 9】前記 C C R 1 介在性疾患又は状態が、関節リウマチ、多発性硬化症、変形性関節症、多発性骨髄腫及び骨粗鬆症から成る群から選択される、請求項 1 5 に記載の医薬組成物。【請求項 2 0】経口、非経口、直腸、経皮、舌下、鼻内又は局所で投与される、請求項 1 5 に記載の医薬組成物。【請求項 2 1】C C R 1 介在性疾患又は状態を治療するための、請求項 1 ~ 1 3 のいずれか 1 項に記載の化合物と、抗炎症剤、鎮痛剤、抗増殖剤、代謝阻害剤、白血球遊走阻害剤又は免疫調節剤とを含む、組み合わせ医薬。